

我が街の記念碑

観藏記念碑

南千住駅 徒歩1分



蘭方医学書の扉が浮き彫りになっている碑

【荒川・塗装・堀井一通信】中学校の教科書に出ていた「ターヘル・アナトミア」という書名は、杉田玄白の蘭学事始の中で使われている表記であり、「解体新書」のことです。

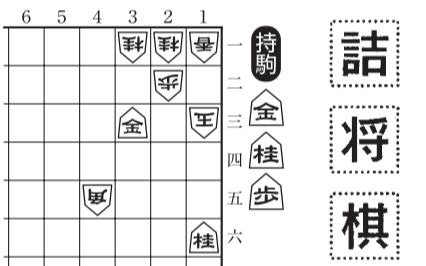
多数の蘭学者を輩出。蘭学は医学に始まり、天文学、博物学、兵学、化学などの学術にまで及び、外国の学問を学ぶ事により、外国の脅威を感じた。南千住駅のそばにある小塚原豊国山回向院には、蘭学を学ぶための解体の地とした観藏記念碑があります。

魂の叫びが聞こえる 蘭学を学ぶための解体の地

明治日本の近代化のスピードは、世界的に見ても驚異的なものでした。19世紀にヨーロッパ以外の国で近代化を達成できたのは、日本しかありません。

青木昆陽は、八代将軍吉宗の命を受けオランダ語を学び、「和蘭文学略考」を著し、その後多くの蘭学者が日本の近代化によって、外国からの植民地化を防ぎ、世界トップクラスの国の仲間入りを果たしました。

今でも南千住に行くくと魂の叫びが聞こえる感じがします。日本のために犠牲になった魂を慰めるためにも、荒川区民だけでなく、日本人なら一度は訪れる場所ではないかと思えます。



詰将棋

チヨット一服 (1026)

漫画家の矢口高雄さんが亡くなった。矢口さんの漫画で溪流釣りの魅力やマタギという狩猟を生業とする人たちの存在を知った。秋田県雄勝郡西成瀬村(現秋田県横手市)という山村に生まれ育ったことが、自然と人間とのあり方を見つける漫画を生み出すことにつながったのだろう。

矢口さんは宮城県石巻市にある石ノ森萬画館の2代目館長を務め、東日本大震災後、石巻市の復興のため、『釣りキチ三平』のイラストを提供した。生前、日刊スポーツの取材でも、「東北の人々に元気になってもらいたいという気持ちで作品を描いている」と語っていたそうだ。

女王と絵本

コロナ関連の報道でテレビやラジオで引っぱりだ

こ、今年の顔となった白鷺大学の岡田晴恵教授。感染症対策の第一人者で「コロナの女王」とも呼ばれる彼女だが、実は児童文学の分野でも有名で、「病気の魔女と葉の魔女」シリーズを4冊、絵本は20冊以上、海外でも翻訳本が出されている。幼いほど病気が重くなりやすい感染症について、どうしたら子供に分かりやすく教えられなく考えた末に辿り着いた手段だった。

忘れえぬ日々

申請会開いてわかった

人助けは連鎖する

板金 君塚広一



私が初めて役員になったのは、分会編成後のこと。分会総会で分会長が決まらず、その年は分会長不在となりまし

た。ただ来年は君塚君という流れになり、「会議や雰囲気等知するために副分会長を」と言われて引き受けました。それまで、行事ごとにも参加したことがなく、活用していたのは健康診断くらい。そんな私でしたが、分会の皆さんが、分からないことがあればいろいろ教えてくれたり協力してくれました。あまり苦労した覚えはなかったです。何年か分会長をやった後、支部の常任になり、仕事対策部長を任せられ、今では副委員長と兼務しています。今年度は、コロナ禍で仕事が減り収入面でお困りになられた方々も多く見られました。ひとつの案件により繋がりが生まれ、それが大きな安心・信頼につながるこの重要性が分かった気がします。今後、さらに支部が地域に根づいて、地域の仕事を皆で受け回せるよう、仲間の意見をたくさん聞いて、目黒支部のために責務にまっとうしたいと思えます。(目黒)



混迷を深めた米大統領選挙で、次期米大統領に就任する見通しとなった民主党のバイデン前副大統領は、先月29日に次期政権の広報チームを発表。7人全員が女性で、これは米史上初めてのことらしい。

対して我が国の菅内閣は、女性閣僚はたった2人だけ。国際潮流からかけ離れた残念ぶりにメディアでは批判が相次いだ。2014年製作のイタリア映画『これが私の人生設計』(監督/リッカルド・ミラーニ)は、女性エリート建築家が国外で活躍後イタリアに帰国するも、男性優位の環境に苦戦し奮闘する姿を描いたコメディ。過疎の山村・アンヴェルサで生まれ育ったセレナ(オラ・コルテッレージ)が、主人公・セレナに立ち塞がった、日本と状況が激しいイタリアの超保守的男性社会。そのおバカっぷりに大笑いしながら、ジェンダー平等の実現へ大きな一歩を踏み出してみよう。

これが私の人生設計

監督 リッカルド・ミラーニ

超オトコ社会に女性建築家が挑む

住宅のリフォーム案が公募されることを知り、男性と偽って応募するが…。主人公・セレナに立ち塞がった、日本と状況が激しいイタリアの超保守的男性社会。そのおバカっぷりに大笑いしながら、ジェンダー平等の実現へ大きな一歩を踏み出してみよう。

DVD ブルーレイ

